

# 2025年産「アルプス米」コシヒカリ栽培こよみ(JA米)

## 登熟を高める「根づくり」とそれを育む「土づくり」

アルプス農業協同組合  
アルプス農協管内農業技術者協議会

収量構成の目安 (540kg/10a)

収量構成	目安
m <sup>2</sup> 当たり穂数(本)	400
一穂粒数(粒)	70
m <sup>2</sup> 当たり籾数(粒)	28,000
登熟歩合(%)	87
玄米千粒重(g)	22.5

高品質なアルプス米につなげる5つのポイント

- 5/15中心の田植えに合わせた育苗作業
- 生育ステージに応じた水管理
- 初期茎数の確保
- 適期防除
- 適期刈取り

**作業日程の目安**

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
育苗期	5/15 田植	活着期	有効分げつ期	無効分げつ期	7/13 幼穂形成期	8/3 穂ばらみ期	登熟期
5/15 田植えの場合	浸種(4/17) 播種(4/26) 搬出(4/29)	田植え(5/15)	除草剤散布	軽い中干し	溝掘り(6/5~7)	中干し(6/12~17)	加里散布(6/20頃)
			一斉草刈り(7月上旬)	穂肥①(7/19)	穂肥②(7/26)	随時防除	8/3 出穂期
							防除①(8/3)
							防除②(8/3)
							落水(9/4~6)
							刈取り(9/11)

**品質向上は土づくりから**

資材名	標準施用量(kg/10a)
粒状ケイカル	200
元気	100
シリカロマン	100
シンキョーライトP	100

■秋耕らの実施  
稲わらは秋のうちに5~10cm程度浅めにすき込む

**水管理の目安**

- ①生育初期の浅水管理
- ②田植後4週間までの中干し
- ③中干し後の間断かん水
- ④幼穂形成期後の飽水管理
- ⑤出穂後20日間の湛水管理
- ⑥収穫5~7日前までの間断かん水

浅水管理で水温を上げる  
~初期茎数の確保~

溝掘り・中干し  
~適期に遅れず~

間断かん水  
~発根促進~

飽水管理  
~養分の吸収を促し葉色を確保~

出穂後20日間の湛水管理  
~稲体の活力維持~

間断かん水  
~品質の向上~

【間断かん水の効果】  
①土壌に酸素と水を供給して根の発達を促す

【飽水管理の効果】  
①根が常に水分吸収可能な状態を維持することで急激な葉色低下を防ぐ  
②肥料持ちを良好にする

3cmの湛水状態

足はほぼ沈まない

しっかり湛水だよ!

【稲刈り時の目安】  
籾の熟度で刈取適期を判定  
株内の平均的な熟度を見る

(初熟化率85~90%)  
青緑色の2次枝梗が黄化した時

**管理のポイント**

**土づくり**

- 稲わらの腐熟促進のため、秋耕しを行い、排水溝を掘る。
- 土づくり資材や堆肥を施用する。
- 19mmのふるい目を使用し、選別を徹底する。
- 水分14.5~15.0%に仕上げる。
- (高温年は80%か5)
- 初熟化率85~90%頃に刈取る。

**適期収穫**

- フェーン時はあらかじめ入水する。
- 刈取り予定日の5~7日前まで間断かん水を行う。

**基本防除2回の徹底**

- 1回目は穂揃期
- 2回目は傾穂期

**出穂後20日間の湛水管理**

- 葉色が淡い場合は、出穂前に追加穂肥を施用する。
- 2回目穂肥は1回目穂肥から1週間後を目安に施用する。
- 1回目穂肥は幼穂長1.5cmと葉色を確認してから施用する。

**適正な穂肥**

- 幼穂形成期から飽水管理。
- 草刈りを終える。
- 7月上旬までに畦畔や雑草地の草刈りを終える。

**草刈りの徹底**

- 必ず幼穂長1.5cmを確認してから!
- 1回目穂肥は

**中干しは適期に開始**

- 6/20頃に「エスアイ加里」または「珪酸加里」を施用する。
- 中干し後は幼穂形成期まで間断かん水を行う。
- 強すぎる中干しに注意する。
- 田植後4週間までに遅れずに開始する。

**溝掘りは確実に**

- 活着後は、浅水管理をする。
- 植付深さは3cm。
- 植付本数は株当たり3~4本。
- 栽植密度は坪当たり70株を確保する。
- 苗箱施肥による防除を実施する。
- 基肥は基準量を施用する。

**田植後は5月15日を中心に**

- 搬出直後から換気の徹底。
- 田植時期に応じた計画的な育苗を行う。

**健苗育成**

- 代かきは、均等に努め、練りすぎに注意する。
- ゆっくりと耕起し、作土深を15cm以上確保する。

**耕起・代かき**

- 秋施用ができなかった場合は、土づくり資材を確実に施用する。

**4月26日を中心とした播種**

○5月15日を中心としたコシヒカリの田植えに合わせ、播種日は4月26日を中心とする。

○育苗日数は19日以内を目安とし、老化苗の発生を防止する。

浸種日	播種日	田植日	出穂期
4/8頃	4/19頃	5/10	7/31頃
4/17頃	4/26頃	5/15	8/3頃
4/26頃	5/3頃	5/20	8/7頃

育苗日数が19日程度でも、苗の生育量は十分に確保できる!

栽植密度は70株/坪

**適期中干し開始・適度な中干し実施**

○中干しは田植後4週間までに遅れず開始することで根の伸長を促進します。

○中干しの効果を高めるため、中干しの前には溝掘りを確実に実施しましょう。

**適期中干し**

- 葉が直立
- 茎が太い
- 根量が多い

**中干し未実施**

- 下葉が枯れる
- 茎が細い
- 根量が少ない

中干しの有無による稲の姿

乗用管理機での溝掘り

**適期で適正な防除で被害を防止!!**

**病害虫防除体系**

【育苗基本防除】・苗箱薬剤剤は、規定の薬量(50g/箱)を厳守し、箱全体に均一に散布する。

薬剤名	散布量	使用時期	対象病害虫
ブーンレバード箱粒剤	50g/箱	播種時(覆土前)~移植当日	いもち病、紋枯病、イネネズソウムシ、イネドロオウムシ、白葉枯病、もみ枯細菌病、ツマグロヨコバイ、フタオビコヤガ、ニカメイチュウ、イネツトムシ

【本田基本防除】・粉剤、液剤体系

防除時期	基本防除	
	種揃期	傾穂期
随時防除	ラプサイドキップ粉剤 DL 4kg/10a	スタークル粉剤 DL 3kg/10a
紋枯病の発生が多い圃場	ラプサイド K2フロアブル 150L/10a 1,000倍	スタークル液剤 10 150L/10a 1,000倍
出穂10日前頃	ラプサイドキップ粉剤 DL 4kg/10a	スタークル粉剤 DL 3kg/10a
対象病害虫	紋枯病	いもち病、カメムシ類、ウンカ類
		カメムシ類、ウンカ類、ツマグロヨコバイ等

**除草剤散布は遅れずに**

**雑草防除体系**

- 水深5cm程度を保ち散布する。
- 除草剤散布後7日間は落水やかけ流しをしない。

**雑草の発生が少ない圃場：一発処理**

**カチボシ**・1キロ粒剤51・Lジャンボ

使用時期：1キロ粒剤 移植時~ノビエ25葉期  
ジャンボ 移植後~ノビエ25葉期 (移植後30日まで)

**クサウエボン**・1キロ粒剤・ジャンボ

使用時期：1キロ粒剤 移植時~ノビエ35葉期  
ジャンボ 移植後1日~ノビエ3葉期 (移植後30日まで)

**ベッカク**・1キロ粒剤・ジャンボ・豆つぶ250

使用時期：1キロ粒剤 移植時~ノビエ3葉期  
ジャンボ・豆つぶ 移植後3日~ノビエ3葉期 (移植後30日まで)

**雑草が残った場合**

**ノビエが残った場合**  
クリンチャー・ジャンボ

使用時期：1kg/10a施用  
移植後7日~ノビエ4葉期 (収穫30日前まで)

**トドメMF1 1キロ粒剤**

使用時期：移植後14日~ノビエ5葉期 (収穫50日前まで)

**広葉雑草が残った場合**  
バサグラン粒剤

使用時期：移植後15日~収穫45日前まで

**ノビエ・広葉雑草**どちらにも効果あり  
トドメバSMF液剤

使用時期：移植後15日~ノビエ6葉期 (収穫50日前まで)

**クサナムに効果あり**  
ロイヤント乳剤

使用時期：移植後20日~ノビエ5葉期 (収穫45日前まで)

**雑草の発生が多い圃場：体系処理**

**体系①：ノビエ対策**

**マーシット**・1キロ粒剤

使用時期：移植後3~5日 (移植後30日まで)

**ベッカク**・1キロ粒剤・ジャンボ・豆つぶ250

使用時期：マーシット散布後7~10日 (移植後30日まで)

**[中干し前に使用]**  
テックン

使用時期：移植後15日~ノビエ4葉期 (収穫60日前まで)

**体系②：ホタルイ対策**

**ピラクロン**・1キロ粒剤

使用時期：移植時同時使用 (ノビエ1.5葉期まで)

**クサウエボン**・1キロ粒剤・ジャンボ

使用時期：ピラクロン散布後7~10日以内 (移植後30日まで)

**体系③：中期剤タイプ**

**ピラクロン**・1キロ粒剤

使用時期：移植時同時使用 (ノビエ1.5葉期まで)

**[中干し前に使用]**  
テックン

使用時期：移植後15日~ノビエ4葉期 (収穫60日前まで)

**土壌に応じた適正な施肥量**

**コシヒカリの基肥施用基準** 生育量を確保するために、基肥は基準量を確認して施用する。

土壌区分	肥効調節型肥料		分施肥体系(基肥+穂肥2回)	
	<標準タイプ>	<省カタイプ>	基肥	穂肥
砂壤土 壤土	肥料名 Jコート コシヒカリ1号	施用量 (kg/10a) 35	肥料名 けい酸加里入り Jコートコシヒカリ1号	施用量 (kg/10a) 41
	肥料名 Jコート コシヒカリ2号	施用量 (kg/10a) 27	肥料名 けい酸加里入り Jコートコシヒカリ2号	施用量 (kg/10a) 32
半湿田 黒ボク土	肥料名 Jコート コシヒカリ1号	施用量 (kg/10a) 30	肥料名 けい酸加里入り Jコートコシヒカリ2号	施用量 (kg/10a) 35
粘質土	肥料名 Jコート コシヒカリ2号	施用量 (kg/10a) 27	肥料名 けい酸加里入り Jコートコシヒカリ2号	施用量 (kg/10a) 32
			基肥206	25
			穂肥	
			肥料名	施用量(kg/10a)
			追肥3号	10 12
				10 10

◎高品位・低コスト生産にカントリーエレベーターを積極的に利用しましょう!